

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 石川 哲夫 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 医療法人蔦会いちご苑・アイビークリニック 担当者名 廣木 とよ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 21 年 11 月 5 日 ( 木 ) 18:00 ~ 21:00
実施場所	医療法人蔦会介護老人保健施設いちご苑 6 階大会議室
参加者と人数	職員 73 名、メサフレンドシップ 4 名 計 77 名
派遣講師名と出身国	ジェフリー・パーク (アメリカ)
活動の内容	<p>施設見学 知的障害者施設で約 10 年間介護関係の業務についていた観点から、高齢者リハビリテーション関係の施設内見学の希望があり案内した。</p> <p>ウエルカムイベント ウエルカム ダンス (月の夜は)...ハイビスカス・フラチーム (職員のサークル活動の披露)</p> <p>井上理事長のイングリッシュ スピーチ (歓迎のことば)</p> <p>講師の講演 自己紹介 (7 年前の来日から今回の来日に至る経緯、日本の観光場所、趣味などから) アメリカの出身地から滞在地 (アイオワ、コネチカット、テキサス、ニューメキシコ) の食文化、気候、風土などの紹介 (パワーポイント) アメリカの知的障害施設 (Skyview、Educare) での職歴や、職種及び職員の特性の紹介 (パワーポイントを通じて) 討論会 (質疑応答) 職種配置や職員の就業期間など ひたちなか市の紹介 (人口、日本一の産業など) It's a small world の合唱で終了した。</p>
参加者の感想	<p>同世代の講師で興味がもてた。 日本の国がホットするとのことで、また、日本のおでんや、寿司などの食事が好物と聞き、親しみがもてた。 日光の優美さ、アメリカと日本の紅葉の共通点、阿武隈洞とアメリカの鍾乳洞など、日本とアメリカの共通の自然を理解する姿勢に親しみが持てた。 阿武隈洞にいったことがある人? などと受講生に問いかけたり、一体となりながらの講演でなじみやすかった。 全て、日本語のスピーチですばらしかった。(疲れたでしょう? との声) 日本で学ぶため、大阪大学で 1 年間日本語を学びより深く日本文化を理解しようとする努力、また、日本への奉仕の心が伝わり、明日への希望と感謝の気持ちが湧いた。 様々な場面で礼儀正しく、謙虚さがあり、日本人より日本本来の良さをもっていたように思う。 ハンサムで握手の手が暖かく、優しさが伝わった。 趣味のギター演奏 (ジャズ) が聴きたかった。 賃金の問題など日本だけが厳しいと思っていたが、先進国アメリカでも大変だと感じた。</p>

	<p>アメリカでは働きながら様々な経験を積んで、人生をかけ学んでいく方が多いとのこと で、素晴らしいと感じた。 アメリカの知的障害施設の職員が半年で辞めてしまう理由など、ボランティアや就業シ ステムについて、もっと聞きたかった。 など(参加者)</p>
<p>担当者の感想</p>	<p>当法人では、今年で3回目の国際交流会となりました。11月は文化の日、介護の日、茨 城県民の日という記念日が多い月です。これらを記念すべく有意義な素敵な時間を過ご すことが出来ました。日常、私達は多忙な日々の業務に追われ、目先の狭い世界に生き ているようにおもいます。他国の方が、日本の文化や景色に触れ感動された話題や、私 達が知らない世界の景色、文化、生物、教育、職業などに触れられ、また、労働の悩み も自分達だけではなく共通の問題があることなどを知ることが出来ました。言葉を一つ にすると、生きてきた環境が違っていても“心は通い合える”という豊かな財産をいた だいた気が致しました。この感動を明日の仕事に反映出来るよう努力してまいりたいと 思います。 今年も合唱した It's a small world の唄の内容を実感できました。</p>

